

# 2017NAVI ミニムキャンプ(小6)報告

(公社) 日本フェンシング協会  
育成・普及委員会



当事業の謝金、旅費、使用料等の一部は、  
スポーツ振興くじ (toto) の助成によって  
まかなわれています。

## 1. 会場

〒297-0201 千葉県長生郡長柄町上野 521-4 (生命の森リゾート)  
日本メディカルトレーニングセンター TEL 0475-35-3333

## 2. 実施期日及び参加者

	男子	女子	計
・小学6年生の部 2017年8月11日(金)～8月13日(日)	9名	15名	24名

## 3. 指導者

頼藤俊夫 (FJE 理事) 加藤 宙 (メインコーチ : FJE 育成委員)  
佐藤秀明 (FJE 情報戦略委員) 岩間秀子 (FJE アンチドーピング委員)  
吉澤博通 (FJE 育成委員) 添田康雄 (FJE 育成委員) 中田玲子 (FJE 育成委員)  
鈴木あゆみ (宮城県 F 協会) 岩倉 隼 (山形県 F 協会) 福島涼香 (慶応大学)

## 4. 研修内容

### (1) 1日目 (8月11日)

#### ○保護者説明会の実施

親子で参加

日本フェンシング協会の選手育成システムと  
NAVIの役割

選手育成システムにおける

ミニムキャンプの位置づけ

ミニム選手育成と保護者へのお願いと期待

#### ○アイスブレイキング

#### ○ウォームアップ



#### ○フットワークと基本レッスン I

ゆっくりマルシェから間合いに入ったら、  
クードロア・アン・マルシャンで突く



#### ○ファントの撮影 (動画)

- ・全員のファントを  
正面と真横から撮影



## ○レッスンⅡ

- ・ゆっくりマルシェから、速いクードロア・アン・マルシャンで突く。  
アタックはストレートとデガジェ。  
ゆっくりマルシェから、近づくスピードを変化させることでアタックの権利をとる



## ○栄養指導

望ましいアスリートの食事



バイキング形式夕食で  
バランスの良い食事の実践





(2) 2日目 (8月12日)

○ルール講習

違反と罰則を考えるグループワーク



- ・試合前に起こる違反
- ・試合中に起こる違反
- ・試合後に起こる違反

○レッスンⅢ

・ゆっくりマルシェから、腕を伸ばさず、速いマルシェで剣をカルトへ向けフェーント。デガジェで突く。

- ・ストレートとデガジェをランダムに突く。



○映像分析 (動画)

・全員を撮影、映像を見ながらコーチより一人一人のフェーントに対してにコメント



○レッスンⅣ

・制限ファイティング (剣の接触禁止) )  
攻撃権を意識したファイティングとなる



・その後、フリーファイティング

(3) 3日目 (8月13日)

○試合

男子 予選5人プール：5本勝負

勝ち上がりトーナメント4人

敗者トーナメント5人

女子 予選5人総当たりプール

勝ち上がりトーナメント8人

敗者トーナメント10人



○保護者アンチドーピング研修の実施

中学生からドーピング検査対象となるため未成年者は親の同意書が必要だが、日本フェンシング協会では選手登録時、親のドーピング検査同意を得て登録することになっており、協会に登録することで同意とみなす。



## 5. 所感

今回のキャンプ日程が他の団体のフェンシングキャンプと重なり、参加者が少なかったが24人中14人が、昨年のミニムキャンプ経験者であった。昨年のキャンプが良かったため今年も参加してもらえたものと解釈し、今年も実のあるキャンプにしていこうとスタッフ一同気を引き締めて指導に当たった。

選手は、2回目のキャンプ参加者が多いためか、会場の使い方から食事や宿泊まで、コーチの指示に従い積極的に活動していた。選手達は向上心が強く、何でも吸収しようという意欲が感じられた。

メインの実技では、フラーズダルムのアタックの取り方をフットワークと間合いを関連づけて実施した。すなわち、ゆっくりマルシェから、速いクードロア・アン・マルシャンで攻撃することで、速いマルシェで入ったところから攻撃権がとれること。そこで相手が突かれると思ってカルトをパレーしたらデガジェで攻撃できるという練習をした。スピード変化をつけることで、腕を伸ばさなくてもフェイントになり相手の防御動

作を引き出すことも学んだ。

新しい技が2泊3日のキャンプだけで身に付くものではないが、攻撃権を取る考え方や違反と罰則を知ること。自分のファーストを映像を通して知ること。食事の大切さとバランスよく食べることの大切さを知ること等、たくさんのことを学べたと思う。また、3日間、全国の仲間と知り合い、共に楽しくフェンシングができたことが一番の収穫かもしれない。これからも大会等で会う仲間同士、共に切磋琢磨して自己を磨いていって欲しいと思います。